本會は要衝の地位に鑑り十一月三日午後五時若松市若松町公會堂に於て帆船々員部並に小蒸氣船々員部設立發開式擧行可致に付當日は友人御同伴是非とも御出席相願度最も創立員たる御希望の方は發開式前御入會被下度候（各港本會事務所及若松市辨財天通壹丁目海洋統一協會出張所並同市新地町壹丁目濱中海員部仝市本町二丁目池上海員部に於て入會申込を受附ます）

大正十　年　月　日　　遞信省公認　海洋統一協會本部（無料職業船員紹介所）

門司市東本町四丁目電話一〇八五番

支部出張所在地

海洋統一協會若松出張所　若松市辨財天通り一丁目電話七八八

海洋統一協會下之關支部　下之關市入江町十七番地

海洋統一協會神戸支部　神戸市楠町四丁目十七番地

海洋統一協會大阪支部　大阪市築港三條通り四丁目

海洋統一協會名古屋出張事務所　名古屋市熱田築地二號地

海洋統一協會三池出張事務所　三池港三川町十二區

長崎、宇品、横濱等ニ連絡ノ設備アリ

船員各位

開會順序

（海員ノ方ハ前（御詰メ下サレタシ）

一挨拶　二設立理由説明　三會則審議　四役員選擧　五幹部挨拶　六來賓ノ祝辭及祝電朗讀　七萬歳三唱

（傍聽隨意特ニ婦人ノ來聽ヲ歓迎ス）

問題

一社會問題、勞働問題、行政問題、普選問題、閉會

海洋統一協會規約第三十四條以下ノ增加條項

第卅五條　本會ノ會費並ニ入會料ハ返還セザルモノトス

第卅六條　本會ノ會員ハ本會ノ手帖ヲ所持スベキ義務アルモノトス

第卅七條　會員手帖ニ記載スベキ記事ハ本會指定ノモノヲ之ニ記入セシム

第卅八條　本會ハ帆船々員部並ニ小蒸氣船々員部ノ組織ス（但沿岸航路以上ヲ航行スル氣船々員ヲ除クモノトス）

帆船々員部

第一條　帆船々員部ハ氣船以外ノ船舶船員ヲ以テ本部ノ會員トス

第二條　本部ニ左ノ役員及名譽會員ヲ置ク

一、部長　一名

一、幹事　若干名

一、名譽會員　若干名

第三條　部長ハ會長指揮ノ下ニ部務一切ヲ監督ス

第四條　理事ハ本部理事會ヲ組織シ重要議案ヲ決議ス

第五條　幹事ハ幹事會ヲ組織シ必要事故ヲ決議ス

第六條　名譽會員ハ常ニ本會ヲ援助スルモノトス

第七條　本部ニ顧問、相談役ヲ置ク事ヲ得

第八條　本部會員タラントスルモノハ規定ノ手續キヲ經テ申込ムモノトス

第九條　本部會員ニシテ本會ノ規約ニ違反シ又ハ二ケ年以上本部會員ヲ滯納スルモノハ除名スル事ヲ得

第十條　本會員ノ通常會費ハ一ケ月金十錢トス

第十一條　本會ノ各事業ニ對スル實費ハ理事會ノ決議ニ基キ支出セシムル事ヲ得

第十二條　本會ハ帆船部内ニ於ケル船舶船員間ニ發生スル弊害ヲ豫防シ會員ノ品性ヲ向上セシム

第十三條　本會ハ部内ニ人事相談所ヲ設ケ會員ニ對スル諸般ノ事故研究ニ應シ又之ニ應援スル事アルベシ

第十四條　本會ハ會員ノ品性向上ヲ期スル爲メ乘船中又ハ休職中ノ素行ヲ船長又ハ本會ノ事務主任級以上ノモノヲシテ會員手帖素行欄ニ證明セシムコトヲ得

第十五條　本規則ニ規定アキモノハ本會規約ニ準據スルモノトス

小蒸氣船々員部

第一條　本部ノ會員トスル氣船々員ヲ以テ近海航路以下ノ航路ヲ航行スル

第二條　本部ニ左ノ役員ヲ置ク

部長一名　理事若干名　幹事若干名

第三條　部長ハ會長指揮ノ下ニ部務一切ヲ監督ス

第四條　理事ハ本部理事會ヲ組織シ重要議案ヲ決議ス

第五條　幹事ハ本部幹事會ヲ組織シ必要事故ヲ決議ス

第六條　本部ニ顧問、相談役ヲ置ク事ヲ得

第七條　本部會員タラントスルモノハ規定ノ手續キヲ經テ申込ムモノトス

第八條　本部會員ノ通常會費ハ一ケ月金十錢トス但各事業ニ對スル實費ハ理事會ノ決議ニ基キ支出セシムル事ヲ得

第九條　本部ノ規則ニ規定ナキモノハ本會ノ規約ニ準據ス

（左記入會申込用紙ヲ以テ入會御申込被成下度候）

切取線

入會申込書

○貴會ノ主義綱領ヲ贊シ會則ヲ遵守ス仍テ入會申込候也

大正十　年　月　日

（原籍）

（現住所）

職名　　姓名